

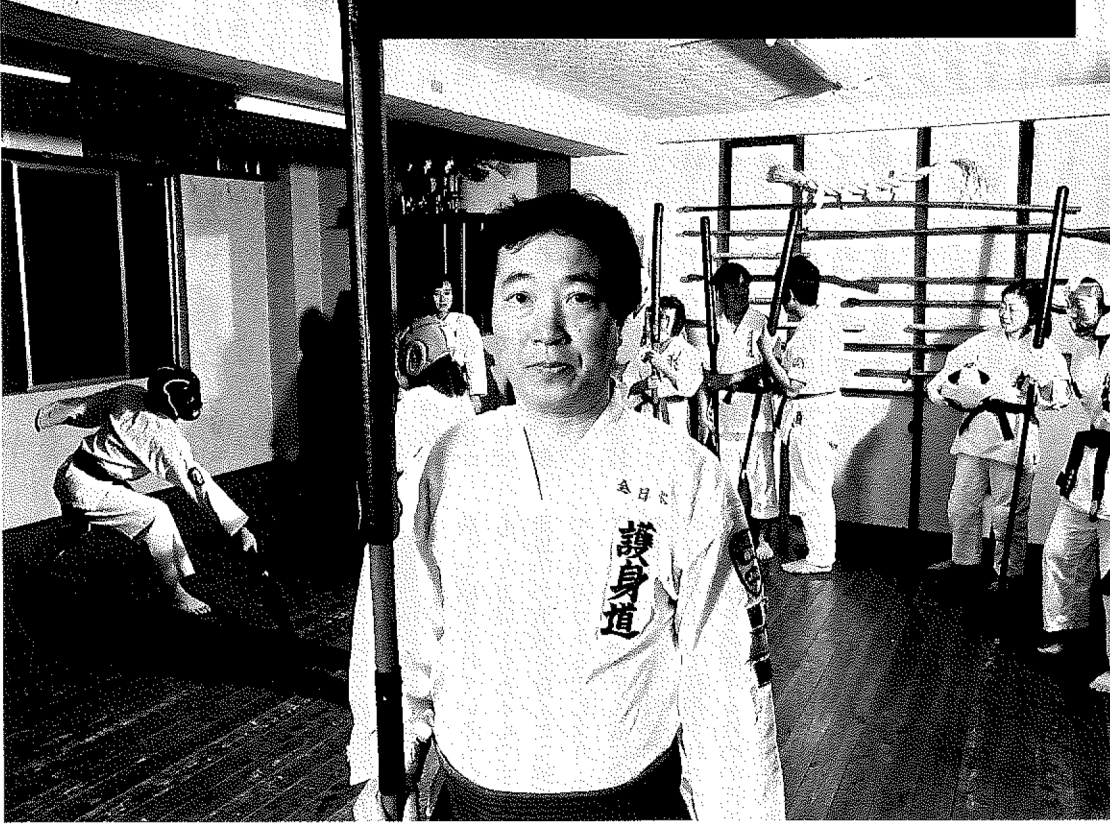
小学館「DIME」

全国に門第3万人！ カタ破りの武道の開祖

田辺哲人

国際スポーツ
チャンバラ協会会長

体のどの部分でも、相手を打てば『勝ち』、
相打ちも両者敗退……限りなく『実戦』を
意識して創られた武道『スポーツチャン
バラ』。いまや世界にも広がりつつある
その魅力の秘密を『開祖』に聞いた！



スポーツチャンバラはストレス解消 ばかりか護身にも役立つんです

か

つては遊びの王様だっ
たチャンバラが、子ど
もたちの遊びの場から
姿を消して久しい。ところが最近
そのチャンバラをスポーツ感覚の
武道に発展させた「スポーツチャ
ンバラ」で、ストレス解消ばかり
か、国際社会に通用する「護身感
覚」も身につけようと提唱する人
物が現われ、注目を集めている。
同協会会長の田辺哲人氏だ。

チャンバラこそ、真の 「実戦のための」武道

スポーツチャンバラはどんな
発想から生まれたのでしょうか。
「日本では団体に参加が認められ
ていない古武道が6種目あります。
このうち剣道、銃剣道、なぎなた
はいずれも重い防具をつけて戦い
ます。ところが防具をつけて戦う
わりにはこれらはまた、とても制
約の多い武道でもあるのです。た
とえば剣道では防具をつけている
ことで面と刺しか打ち合うことが
許されていない。防具のない足首
などは打つてはいけないというの
です。それはおかしな感じがし
ないか？ 体の一部分しか攻撃でき
ない武道では、本当の格闘技とは
いえないんじゃないか？ そんな
疑問から武道を見つめ直してみ
ると、そこに防具をつけない格闘技
としてチャンバラがあった。チャ
ンバラなら棒きれ一本で身を守る
護身術としてもすぐれているし、
立派な格闘技だ。そこで、小太
刀護身道、という新しい武道を作
り、そのニックネームとしてスポ
ーツチャンバラという名前をつけ
たわけです」

年齢や性別を問題に しない「懐の広さ」

「日本の武道はなぜ実戦的で
なくなってきたのでしょうか。
「まずひとつは武器や防具の改善
を怠ってきたからです。たとえば
剣道では足首を打つてはいけない
というほかに、面を打つ時に横か
ら打つことも禁止している。なぜ
なら横から打つと耳を傷める。鼓
膜を損傷してしまうからです。し
かしわたしにいわせれば竹刀を持
つている相手に横から打つとい
うほうがおかしい。横から打つな
という前に、なぜ竹刀や防具のほ
うを安全なように改善しなかつた
のか。用具さえ安全なら横から打
つてもいいはずなんです。すると
範囲も攻める範囲も増えるわけ
です。この剣道の技術は発展してい
たに違いありません。防具が改善さ
れると、技術が進展すれば、武道その
ものも発展したはずなんです」

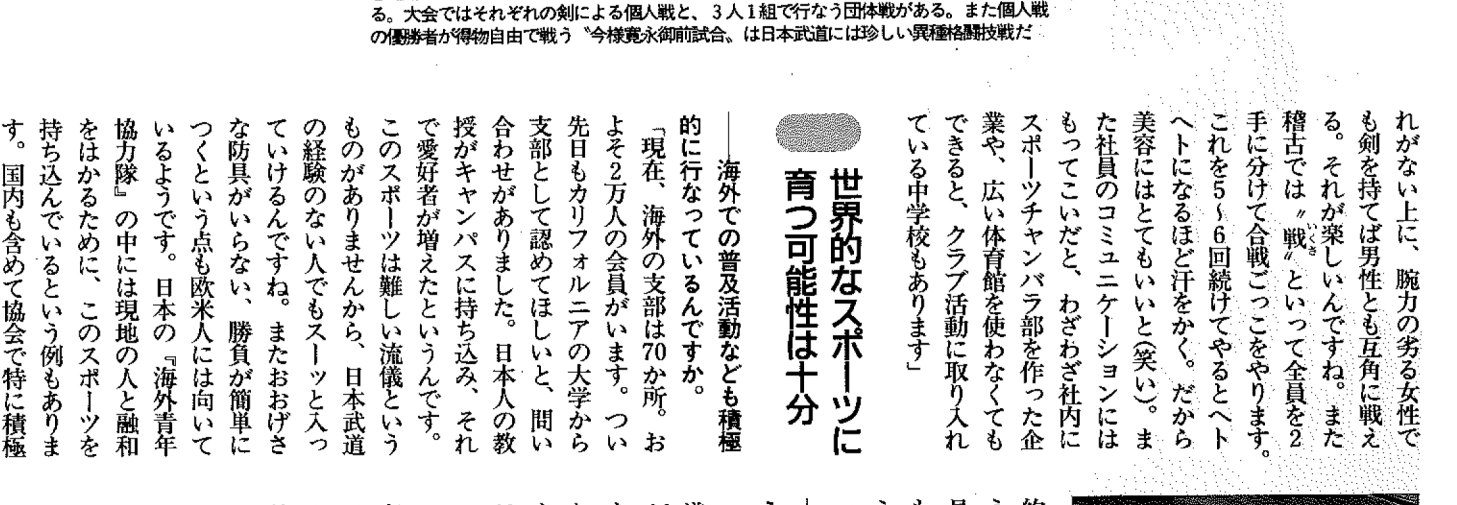


防具は顔を保護するマスクだけ。待機と呼ばれるソフト剣は4種目。右から小太刀、長剣、槍(なぎなた)杖(棒)。剣にはビニールパイプの芯にスポンジが巻き付けられてあり、打たれても安全なよう配慮されている

「愛好者にはどんな人たちが多
いのでしょうか。
「支部は全国に300か所。会員
数は4万人以上です。小中学生か
ら60、70代の高齢者まで愛好者層
は幅広いですね。このスポーツに
は、物物自由、といつて剣の長さ
を自由に選んで戦えるルールもあ
ります。ですから高齢者が長い剣
を選べば、短い剣の若い人も互
角に戦える。だから愛好者層が幅
広い。また高段者にはパイロット
やビジネススマンのほか、ほかの武
道の経験者やかなりの有段者も多
い。海外に出る機会が多いパイロ
ットやビジネススマンは、海外に
た護身術というものが重要なこ
とを早くから知っているんです。
もちろんストレス解消や健康にも
いいと、ビジネス婦人に道場に通
うビジネススマンの姿も多いよう
です。また武道経験者は精神文化
を強調してスポーツとしての
楽しさに門戸を開き、現在
の武道のあり方に、疑問を持って
入ってくる人が多いです」

世界的なスポーツに 育つ可能性は十分

海外での普及活動なども積極
的に行なっているんですか。
「現在、海外の支部は70か所。お
よそ2万人の会員がいます。つい
先日カリフォルニアの大学から
支部として認めてほしいと、問い
合わせがありました。日本人の教
授がキャンパスに持ち込み、それ
で愛好者が増えたというんです。
このスポーツは難しい流儀という
ものがありませんが、日本武道
の経験のない人でもスポーツとい
って入るんです。またおおけき
な防具がいらない、勝負が簡単
につくという点も欧米人には向い
ているようです。日本の「海外青年
協力隊」の中には現地の人と融和
をはかるために、このスポーツを
持ち込んでいるという例もありま
す。国内も含めて協会で特に積極
的に普及活動を行なっているとい
うことはありません。先ほどの隊
員のように、むしろ会員自身が
もうろさを知って、周囲の人を誘
うといったように草の根的に広
がっているのが現状です」



スポーツチャンバラについては田辺氏の2冊の著書「小太刀護身道」「スポーツチャンバラのすすめ」の中でも詳しく紹介されている。文芸春秋から発売中